



日本で最も美しい村議会

# つるい議会だより

子ども達の笑顔と未来のために



**はつらつ元気 まかせろ 鶴居**

ふるさとまつり

## 9月定例会

・諸般報告・行政報告	P 2 ~P3	・委員会活動	P14
・9月定例会議案	P 4	・研修会報告	P15
・意見書・教育委員	P5	・ <b>協働レポート</b> 自立プラン	P16~P19
・補正予算Q & A	P6~P 7	・読者の声	P 20
・一般質問	P 8 ~P13		





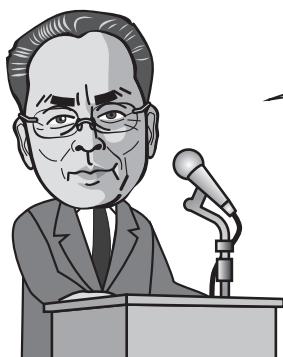
# 9月定例会

平成24年9月定例会が9月13日招集され会期を2日間とし、議長より諸般報告、村長より行政報告、6名の議員より15件の通告があり一般質問が行われました。

そして、条例改正・補正予算・教育委員の任命など、22件の議案審議がなされ、すべて原案通り可決いたしました。

さらに、平成23年度鶴居村各会計歳入歳出決算は監査委員による審査が終了し、決算特別委員会に付託されました。

## 諸般報告



諸般報告について説明します。

### 釧路町村議会議長会 8月定例会（8月8日厚岸町開催）

1. 第56回町村議長会全国大会は、11月14日東京にて開催します。

それにともなう、道外視察につきましては、12・13日の両日仙台市において、東日本大震災の被害状況調査及び震災廃棄物堆積場を視察します。

2. 本年度の釧路町村議会議員研修会の開催は、弟子屈町にて11月21・22日の2日日程で行います。

講師は、小高日銀釧路支店長・観光アドバイザー山田桂一郎氏・北海道経済部次長永田吉則氏の3名です。

3. 次回の釧路町村議会議長会12月定例会は、12月20日浜中町にて開催予定です。

### 釧路北部消防事務組合議会第2回定例会（8月29日弟子屈町開催）

及川議員より定例会の報告がありました。

- 釧路北部消防事務組合の火災予防条例の改正
- 平成23年度一般会計補正予算
- 平成23年度一般会計歳入歳出決算認定

以上3件審議され、いずれも原案通り可決決定されました。



議長からの訓示



秋季消防演習



# 行政報告



私より6月定例会以降の  
行政報告について説明します。

## 職員の人事異動について

去る7月17日付けで教育委員会などの出向も含む村職員の人事異動を発令し、課長職4名の昇格を含む25名の配置転換を行いました。住民の負託にお応えできる体制で望みます。

## 村葬について

7月15日に行われました、元村長錠者和三郎氏逝去に伴う村葬についてですが、村内外から多くの弔問を頂き、村として元村長のご功績を偲ぶことができました。

## 鶴居村防災訓練について

近年大規模な自然災害が国内で発生したことから、

7月17日に村ならびに鶴居消防署・消防団の他、北海道消防防災航空隊や道東ドクターへりによる、傷病者の搬送などの訓練を行いました。

また今回はIP告知システムを活用した緊急放送訓練も実施しました。



いざと言う時に

## 夢の杜分譲販売について

夢の杜第3期分譲販売の状況ですが、16区画の分譲販売を開始したところ、20歳代や道外在住の方からの申し込みがあり、8区画の土地売買契約を締結し好調に推移しています。

## 森林・林業調査会について

7月1日に鶴居村森林組合が国の事業採択を受けて実施した森林・林業再生プラン実践事業の視察のため、菅直人前総理大臣、小川勝也参議院農林水産委員長はじめ国・道の担当者が多数訪れました。

この視察には、松井森林組合長・松井議長にも対応をしていただきました。

## 釧路地方総合開発促進期成会について

7月18日に来年度の事業実施に向け管内の懸案事項について、釧路総合振興局・釧路開発建設部に、26日には札幌で多田副知事に、27日には東京で伊東良孝衆議院議員をはじめ道内選出議員や関係省庁などに要請活動をしました。

## 防災基本協定について

8月2日開催の釧路管内市町村長会議において、管内8市町村が相互に連携協力する防災基本協定を締結することとしました。

## ふるさと創生交流事業について

8月23日からのふるさと創生中学生派遣交流事業は、今回で13回目を迎えた村内中学2年生34名と共に、私も同行しました。



益々深まる管内の「絆」



# 9月定例会議案

## 補正予算（質疑はP6～P7）

### ●平成24年度一般会計

歳入歳出それぞれ1,594万円を追加し、総額38億6,208万1千円とする。

### ●平成24年度水道特別会計

歳入歳出それぞれ136万5千円を追加し、総額3,456万5千円とする。

### ●平成24年度農業集落排水特別会計

前年度繰越金が確定したことによる歳入の補正です。

### ●平成24年度国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ1,233万9千円を追加し、総額3億4,753万9千円とする。

### ●平成24年度介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ845万円を追加し、総額2億5,665万円とする。

### ●平成24年度後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ7万4千円を追加し、総額2,827万4千円とする。

## 条例改正

### ●暴力団排除条例の制定

### ●防災会議条例の改正

### ●災害対策本部条例の改正

### ●村立学校設置条例の改正

### ●ファミリースポーツセンター設置条例の改正



村民の安心・安全の為に

## 専決処分

### ●職員管理職手当支給条例の改正

議会事務局次長の項目の追加です。

### ●平成24年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ677万3千円を追加し、総額38億4,614万1千円とする。村葬の補正です。

### ●損害賠償の額を定める

鶴居牧野で公用車が民間の車両に接触し損傷を与えた損害賠償です。

損害賠償額は13万463円です。

## 報告

### ●平成23年度鶴居村財政健全化判断比率および財政健全化判断比率一部修正

### ●平成23年度水道特別会計資金不足比率

### ●平成23年度農業集落排水事業特別会計資金不足比率

## 認定

### ●平成23年度各会計歳入歳出決算は決算特別委員会に付託されました。

「報告」・「認定」につきましては、11月29日開催の決算特別委員会終了後、12月定例会号の議会だよりに委員会のQ&Aと共に、詳しく掲載いたします。



# 意見書

## ● 2次医療圏の設定に関する意見書

2次医療圏の設定については、「人口規模が20万人未満の2次医療圏については、入院に係る医療を提供する一体の区域として成り立っていないと考えられる場合（特に、流入患者割合が20%未満であり、流出患者割合が20%以上である場合）、その設定について検討する」となっている。

広域分散型で人口減少や高齢化が進行する北海道においては、人口要件を絶対的な要件として2次医療圏を見直すことは、広大な医療圏を設定せざるを得ないこととなり、2次医療圏に求められる機能を考慮すると、実情にそぐわないものである。

よって、国においては、2次医療圏の見直しに当たっては、人口規模だけでなく、面積や自然環境等の地理的条件、交通事情等の社会的条件を踏まえて検討することとし、都道府県の自主的な判断に基づく柔軟な取り扱いが可能となるよう強く要望する。

## ● 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

近年、地球温暖化に対する、森林や木材が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。しかししながら、林業の関連産業を取り巻く状況は一段と厳しく、引き続く経済の低迷は、経営基盤の脆弱な林業・木材産業に深刻な影響をもたらしている。

よって、国においては、次の事項を実現するよう強く要望する。

- 1、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策を促進するため、間伐等促進法を平成25年以降も延長し、造林補助事業に対する都道府県や市町村の負担を軽減するため地方債の特例措置を継続すること。
- 2、平成25年以降の森林吸収源対策の推進や木材利用促進を図るため、地球温暖化対策のための税の使途に森林吸収源対策を追加するなど安定的な税・財源を確保すること。
- 3、安定的な林業経営の確立に向け、直接支払い制度による搬出間伐の推進、路網整備等経営基盤の整備、人材の育成確保対策の強化を図るとともに、効率的施業の推進と助成の拡充を図ること。
- 4、公共建築物等木材利用促進法を踏まえ、木造公共施設等の整備への助成の拡充を図ること。  
また、固定価格買い取り制度等を活用した木質バイオマスなど再生可能エネルギーの利用を促進すること。
- 5、治山対策の推進、また、津波対策等も踏まえた海岸防災林の整備を促進すること。
- 6、森林所有者が災害に備えられるよう、森林の損害を補償する保険の仕組みを確保すること。
- 7、国有林の一般会計化による公益的機能の一層の発揮、安定的な管理運営体制の確立を図ること。

## 教育委員の任命

國安 修一 氏（再任）

現教育長（64歳）

任期 4 年

平成24年10月1日～

平成28年9月30日

起立全員



高橋 文雄 氏（再任）

現教育委員（60歳）

任期 4 年

平成24年10月1日～

平成28年9月30日

起立全員





# 補正予算 Q&A

問 下幌呂の「夢の杜団地」

問 地域情報化推進費として修繕料50万円の補正計上

答　村内一般男性15名、路管内の女性15名の30名を対象に、2日間の日程での婚活事業を予定しています。今回は村内的一般男性を対象としたところが新しい取り組みとなっています。また、1組でも多く良い結果を出すために、経験のある専門業者に業務委託する予定です。

【問】『日本で最も美しい村』つるい婚活サポート事業として8万2千円補正計上していますが、その内容は?

答 今回、土地の購入希望があり、大楽毛村有地の適正な管理および運用をするために分筆予定地の確定測量をするものです。この費用は購入者が負担することになります。

問 大楽毛村有地確定測量  
委託費として26万3千円を  
補正計上していますが、こ  
れから販売するための測量  
ですか？

問 大楽毛村有地確定測量  
委託費として26万3千円を

料24万円が補正計上されて

となつていまですが、その内容は？

問 役場庁舎の節電対策の取り組みとして、1階力

A black and white photograph showing a utility worker in a bucket truck performing maintenance on overhead power lines. The worker is positioned in a lift arm, reaching up towards a wooden utility pole. Multiple power lines are visible against a cloudy sky. The worker is wearing a hard hat and safety gear.

切断すると情報も切れます

**答** 現在、村内で回収した汚泥などは釧路市の処理場に搬入して処理していますが、来年度からは新施設で処理されることになります。

**問** 汚泥等保管施設の測量  
調査設計委託として318  
万8千円補正計上していま  
すが、その内容は？

削減にもなり、地球温暖化や節電対策のためにも、会後LED化を推進していくます。

3千円程度の削減を見込んでいます。LEDランプの寿命は15～20年となっています。同社のCO2排出量の

**答** 今回は常時点灯している箇所のLED化を図りました。電気会社にて三回計五

蛍光灯をLED69本に交換する経費に76万3千円を補正計上していますが、その効果は?また、LED化を

役場庁舎の節電対策の取り組みとして、1階力仕センター部分や出納室などの

# 9月一般会計

その場合、新施設に搬入するまえに一時保管するための貯留槽が必要になることから、補正計上しました。場所は一般廃棄物最終処分場近くを検討しています。貯留槽の大きさは約40トンを予定しています。一時保管する期間は最長で3ヶ月ほどになります。



### 鶴居村のトップヤールスマニ

問 シカの捕獲頭数が8日前で前年同期の1.5倍の1、877頭となっています。そのため今回、有害鳥獣捕獲報奨金として219万5千円が補正計上されていますが、捕獲頭数の確認方法は?

答 ハンターが捕獲したシカの尾を役場に持参してもらいます。その数を確認し報奨金(一頭に付き5千円)を支出しています。目視での確認ですが、持ち込まれた尾は新しいものばかりです。

問 関連して下久著呂で用い罠でシカ捕獲の計画がされているようですが、その内容は?

答 下久著呂の民間会社が当初、くくり罠での捕獲を試みましたが、思うようない結果が出なかつたため、罠を模索しているところです。

問 旧防災無線の撤去、廃棄で163万7千円が補正計上されています。この回収は各自治会や各農事組合に委託されて行われましたが、もう少し早い段階での対応が必要ではなかつたですか？

答 新しいIP告知端末での運用は本年4月1日からになるため、それ以前での回収の対応は出来ないことを理解していただきたい。

問 外国人観光客に対応するため、外国語を併記した観光看板を村内5箇所に設置するため、100万円を補正計上していますが、今後、公共施設や温根内ビジターセンター駐車場などへも設置していく計画は？

答 今回、村内の観光名所である「鶴見台」、「伊藤タウンチョウサンクチユアリ」、「音羽橋」、「宮島岬」、「キラコタン岬」に設置します。その後、必要に応じて検討していきたい。



# 一般質問

## 村政のここが聞きたい 6人の議員が15項目の質問

質問・答弁とともに要旨要約して掲載しました

### 地域防災の自然災害への想定は?

新たな想定結果しだいで見直しが必要!



佐藤議員

大石村長

津波については現在の地域防災計画の中には記述していませんが、今後新たな想定結果が示された場合には防災計

画の中に盛り込むなど見直しが必要となるものと考えています。

昨年3月11日の東日本大震災を受けて、本年6月28日付で北海道から北海道太平洋沿岸地域に係る、津波浸水予想図について公表がありました。

幸いにも当鶴居村は該当市町村には入っておりませんが、その中には平野部へ浸水するとともに、より高い波高となる恐れがあると表記されています。

本件については、販売促進パンフの作成や販売案内大看板製作委託も発注済みのよう

であります。現状と今後の販売見通しについて見解を伺います。

大石村長

当該地区の販売状況についてですが5月からの販売開始しており、そのうち年度内に後、16区画のうち8区画成約6区画で住宅建築が完成の予定です。

これは「移住セミナー」や

釧路市内の「移住・定住鶴居村ブースの設置」による成

果があつたものと考えています。今後も積極的に各種PR機会をとらえて一層の努力をしていきます。



好調な分譲地販売

### 佐藤議員

6月補正計上の中にある、

本調査ですが、事業内容については木質バイオマス等となっています。等と言うことは、それ以外にも村内にある地域エネルギーの活用も対象になつていると受け止めますが、見解を伺います。

大石村長

本調査については役場庁舎及び総合センターの暖房設備

の老朽化にともなう設備更新や維持管理のコストダウンを勘案して、本村の地域資源を有効に活用した設備更新が可能か検証するために、岩手県の株式会社アトム環境工学と契約し、今年度末までに本村の情報収集から、地域エネルギー創出の検証、報告書のまとめまでを一括して行うこととしています。木質バイオマスの他、家畜糞尿バイオガス、地熱によるヒートポンプ、太陽光発電等の利活用も検討しており、本件の調査研究結果については村民の皆様へ広く情報公開いたします。

地域エネルギー利活用調査研究委託の内容は?

多様な地域エネルギーの利活用を検討!



## 障がい者に対する支援策は？

**障がい児の放課後の対応  
仕事場の確保について**  
について序内で検討



武藤議員

障害者支援策について、  
次の2点について伺います。  
①障がい児の放課後の対応  
は？  
②障がい者の仕事場の確保  
対策は？

大石村長

障害者支援策について、  
次の2点について伺います。  
①障がい児の放課後の対応  
は？  
②障がい者の仕事場の確保  
対策は？

障害者支援策について、  
についてですが、現在のと  
ころ、村内にはNPO「の  
んき」・「らんらんハウス」  
の2事業所が就労継続支援  
B型事業所の指定を受け、  
活動しています。

村としては、一般廃棄物  
最終処分場の延命化をさせ  
るために、収集された不燃  
物の分別を徹底する作業が  
必要となることから、こう  
いった作業を提供できない  
か、検討をしていきたいと  
考へています。

①現在障がい児を持たれる  
親の会「おひさまの会」では、  
放課後対策を含めた障  
がい児福祉サービスについ  
て、管内の事業実施状況を  
研修しながら、運営形態や  
施設などの検討をしている  
と聞いており、その中に役  
できる仕事がないか、序内  
に



明るい作業所内



指定を受けてる「のんき」作業所

的に検討を今後していきた  
いと考えています。

## 議会だよりに対するご意見・ご要望を お寄せください！

次回定例会は、12月13日・14日の予定です。

議会事務局

TEL (0154) 64-2116

メールアドレス TURUIMUR@yahoo.co.jp





## 雇用創出のため企業誘致を！

難易度の高い課題ですが検討も必要



松井洋議員

大石村長

1点目の本村の企業誘致についてですが、現在、村では誘致に係る対外的な広報・宣伝活動は特に実施していないのが実情です。

将来に向けて鶴居村が発展していくためには、雇用創出は避けて通ることの出来ない非常に重要な課題であるとともに、とても難易度の高い課題であると思っています。

雇用創出には様々な側面がありますが、今回は企業誘致について2点伺います。  
 ①本村での企業誘致の現状について。  
 ②現時点での村長の企業誘致に対する考え方（将来像も含む）について。



これ程でなくても・・・

うえで、企業誘致による雇用創出は非常に重要であると考えています。

また近年では、都市との情報格差がなくなりつつある中、将来に向けては、本村の情報通信基盤を活かした雇用創出や企業誘致が有効なもの一つと考えますが、非常に難易度の高い課題でもあり、現状では難しい側面があることを理解していただきたい。

今日の企業誘致は厳しい経済情勢などによって、非常に難易度の高い課題であり、積極的な事業展開には至っていませんが、様々な問い合わせには、本村の情報提供も含め対応しています。

倍聴席が

残念ながら

今回も〇名でした。

# 理事者vs議員の質問、答弁のやり取りは迫力があります!!

『議会だより』では伝わらない情熱が、議場にはある!!



## 村有地の売り払いについて

### 利用計画等を考慮し適正管理！



考え方を伺います。

**大石村長**



定住人口増加の為に

**吉田議員**

鶴居市街の村有地の売り払いを決定し、公募を開始しました。

①この土地を提示した事由は？

②受付期間が8月28日から9月28日の1ヶ月の短期間であるのは？

③売り払いの周知は村内だけなのか、村内での希望がなければ村外にも公募するのか？

④村有地の売り払い等から人口増に繋げる今後の取り組みについて。

以上4点について村長の

①村有地としての利用計画が無く現況が宅地で区画整理されており、すぐに住宅建設が可能であること等を考慮し選定しました。

④村有地で同様の要件を満たす物件は現在ないことから、予定はありませんが、村有地の利用計画を考慮し売り払いも含め適正管理に配慮したい。

②同一区画に対し複数の申し込みがあった場合を想定し、購入者を抽選により決定することとしたためです。  
③今回はまず村民の方で宅地の購入を考えている方を対象に募集し、今後の売り払い状況を見た上で、村外の方も対象にしたい。

④この事業の情報を得ているのか、酪農家が利用しやすい制度なのか、村としての助成も考慮しているのかについて考え方を伺います。

**大石村長**

「自家発電設備導入促進事業費補助金」の内容につ

きまして8月28日から10月12日までの公募で12月3日から3月29日までの間、次の要件を満たすと補助の対象となります。

一つ目は、系統に合計500kW以上の電気の供給が可能であること。

二つ目は、新たな設備投資により合計20kW以上の新増設・増出力を行い、一定時間以上稼働し自家消費の目的で設置すること。

現在、酪農家については釧路丹頂農協で詳細について調査しており、村は村内事業者に周知したい。

なお、この事業については国の補助事業のため、村の助成は出来ません。

道内限定で酪農家も対象にしています。今冬の電力需給がひっ迫する恐れがあ

る事から、自家発電による電力を確保したいようですが、この事業の情報を得ているのか、酪農家が利用しやすい制度なのか、村としての助成も考慮しているのかについて考え方を伺いました。

道内限定で酪農家も対象にしています。今冬の電力需給がひっ迫する恐れがあることから、自家発電によ



備えあれば憂いなし





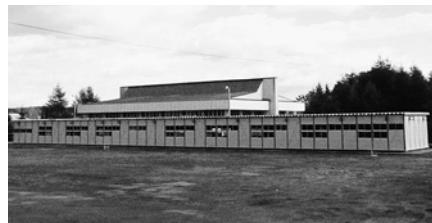
## 委員会活動報告

### 総務常任委員会（閉会中の継続調査）

- 事 項 ① 鶴居小学校給食施設および仮設校舎について  
② その他総務常任委員会所管に関する事項について

### 産業常任委員会（閉会中の継続調査）

- 事 項 ① 鶴居産牛乳の製造販売について  
② その他産業常任委員会所管に関する事項について



工事が進む仮設校舎

## 議員の派遣について

### 1. 道外行政視察

- ① 目 的 議会の活性化と議員の資質向上に資するため  
② 場 所 岩手県紫波町・新潟県長岡市他  
③ 期 間 10月29日～11月2日の5日間  
④ 派遣議員 全議員10名

### 2. 釧路管内町村議会議員研修会

- ① 目 的 議員としての活動および資質向上に資するため  
② 場 所 弟子屈町川湯  
③ 期 間 11月21日～22日の2日間  
④ 派遣議員 全議員10名

## 議員が参加した諸行事

### 平成24年度 鶴居消防秋季消防演習および釧路支部消防団員技能競技大会

9月9日に、村内の消防団の士気の高揚と集団規律維持を目的とした同演習会が村民広場で開催されました。

当日は、1週間後に釧路市で開催される第57回釧路地方支部消防団員技能競技大会出場チームの選考会も兼ねており、各団員は牧草の収穫時期と重なり、家族の協力なしには練習もままならなかつたことと思います。

しかしながら、チームワークと作業精度の向上の為に懸命な努力をされておりました。

### 消防技能大会



練習の成果はいかに？

### ふるさとまつり



一番早かったのは誰？



ガツツで転がすロール



# 議員研修会報告

## 北海道町村議会広報研修会

8月23日札幌市にて北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が開催され、大津広報委員長以下全4名が参加しました。

今回の講師を務められた城市創氏（編集者・城市創事務所代表）は、現在広報コンサルタントとして講演やコンテスト審査員として活躍されている方で、講演内容も具体的で理解しやすいものでした。

まず、議会改革が叫ばれるなか議会広報誌の役割はより大きくなり、その中で自治体広報誌との差別化が必要との指摘がありました。具体的には議会広報誌は議会での審議過程を住民に知らせることが重要であると強調されました。

議会広報を編集するにあたっての留意点として、まず「最初の読者」としての視点を持って編集にあたることを指摘し、このことは外部視点での文書表現、デザインにつながるとしました。また、議会広報誌の性格上文字が中心の編集になるので、原稿は内容の意図することを的確に表現すること、より理解しやすい表現に努めるべきであるとしました。

今後留意すべき点として著作権法を考慮に入れて編集をすべきことを強調されました。新聞記事、写真等すべてに適用されるので注意が必要とのことです。

以上の事を踏まえ、鶴居村議会としての独自性を見いだしたいと思います。また議会広報の重要性は、そのまま議会の活性化、議員の資質向上につながることを再認識しました。

そしてより住民視線に立った議会広報の発行のために委員全員努力する所存です。住民の方々にも議会広報誌に対し議会、議員を通じて積極的に感想、疑問、提案する事をお願いしたいと思います。



講師 城市 創



最優秀賞を目指して猛勉強



## 林活議連『森林（やま）を見る会』

10月5日白糠町にて釧路地方林活議連「第12回森林（やま）を見る会」が開催され、3名が参加しました。内容は庶路ダムと白糠町和天別町有林の観察および懇談会に参加しました。それぞれ庶路ダムでは利用目的と経過報告、和天別町有林ではカラマツ複層林施業について説明を受け、懇談会においては各来賓より現在林業の置かれている状況、今後の施策の方向性などについて提言がなされました。



温暖化に対する森林の役割は



# 自立プランの思い

月には地方分権一括法が施行され、地方分権時代を迎えた。三位一体改革では地方交付税の縮小で特に小規模自治体の財政運営を直撃しました。そのような状況のもと、国では「平成の大合併」を推進させていて、本村でも鉛路市をはじめとする近隣1市4町1村と合併協議会を立ち上げ、協議を進めていました。

などの結果から、新たな命  
併協議会には参加せず、「自  
立の町づくり』を選択しま  
した。

しかしながら、将来とも  
厳しい財政状況に変わりは  
ないことから、鶴居村の新  
たな出発の機会と捉えて、  
住民と行政のパートナーシッ  
プに基づいた「協働の町で  
くら自由立プラン」を策定す  
る事としました。

計画期間を、平成17年度  
から平成21年度までの5年  
間として策定されたプラン  
は、私たち議員にとって古  
質問の裏づけ資料として利  
用させて頂きました。

このプランの一番大きな  
意義は、第4次総合計画の  
柱となることであり、  
**協働の町づくりのバイブル**  
となっています。

そこで、公募に応募され  
委員となった皆様に、応募  
された動機や検証そして今  
後の町づくり等についてお  
聞きする座談会とします。



音成邦仁さん

えぬ場だと思いぜひ参加して、たくて応募しました。

タンチョウ・湿原・自然そして野生生物と、鶴居村にはそういうボテンシャルが色々揃っている村で、もつと色々な事が出来ると思っていました。

今振り返れば、随所で章見が言えたこと自体は意義があつたと思っています。



自立プラン策定委員会



# 協働の町づくりにかけた

出席者 音成邦仁・小野寺勝彦・菅原昌司・菊地和広・松井洋和（司会者）

5名の方は、自立プランの公募に応募された委員の皆様であります。

自立プランの作成委員総数は、15名であります。

（文中を含め、敬称は略させて頂きます。）

私は、平成12年の暮れに鶴居村に移住してきました。平成16年に合併に関する住民懇談会が各地区で行われ、当時のシミュレーションは投資的経費にお金を使うものであり、私は疑問を感じました。その後、新村長が自立の道を選択され、今後の村づくりのプランを策定するという事になつたので、自らの疑問点を解消するために、委員に応募しました。選任されてからは、行財政部会に所属して「適切なものか」「無駄がないのか」ということを視点に検討しました。



菅 原 昌 司 さん

## 検証 「事務事業の見直し」

「自立プラン」では、鶴居村の将来に向けた事務事業の方向性を示す40項目からなる各分野で検討した主な事務事業があり、皆さんに検証をして頂きました。

### 総務行政

- 災害対策事務 全村的な避難訓練を提唱していたが、行われていないのでは。
- 企業誘致 空き地情報をHP上で紹介し、企業誘致を促すべきと提唱した。学校跡地の活用も有効では。
- 振興公社 個人株主の必要性を提唱したが。



自立講演会 横山教授

### 保健福祉

- 敬老年金 鶴居村は介護保険料が高いと言われているが、これらのサービス事業によって補填されている側面がある。
- 第3子支給事業 当時は厳しい抑制方針で検討したが、現状の財政状況を見ると、鶴居村ならではの手厚い施策があつても良いのでは。

作成時の方向性は、概ね達成されていますし組織体系が変わったり、縮小計画だったものが継続されるなど、時代に合わせて「事務事業の見直し」がなされておりました。



# ラン」作成を!

事業の見直しをして、縮小・廃止をする事から始まった自立プランであった。

司会 それでは、今後の村づくりと自立プランについてお伺いします。



小野寺 勝彦さん

「自立プラン」の時は削減しか考えていない会議でした。

今は時代がどんどん変わってきたので一番煎じでも良いので何か一つ打ち出せばみんなの活気が出てくると思う。

また鶴居村には、遊休地がいっぱいあるので、釧路市みたいにPRしたら、住んでくれる人がたくさんいると思う。

音成 村としてどのように力を入れて、何を推進していくのかが見えない。

自分としては観光が重要になってくるという気持ちがある。鶴居村らしい観光推進というものは絶対必要だと思っている。

まず力点を定めれば、そこに對し意見を言えるので、実現に向かっていくのかもしれません。

前回の「自立プラン」の

時はいかに削減できるかという印象だったので、次は攻めの「自立プラン」みたいなものができる面白い。ただ貯蓄しておくだけでなべみんなの活気が出てくると思う。

また鶴居村には、遊休地

が減っているのは村の課題であると思ひ。

力も必要と思う。加工を含めた商工観光ならこれというようなもの、酪農館も頑張っているがもっと大きなものを期待する。

そういう所で鶴居村は自立していけるんだといつアピールが出来れば良い。大きさに言つと日本の中でも希有なものであつて、いたいという願望がある。

立していれるんだといつアピールが出来れば良い。大きさに言つと日本の中でも希有なものであつて、いたいという願望がある。

基金も減っていないし、今後積極的な村づくりも大事で、ようですが、基本は健全財政だと思つので、これからも背伸びせず、身の丈に合った村づくり、

財政基盤というものを維持してほしい。



次はこの様なかたちで!!

司会 ここからは、議会についての意見をお伺いします。

菊地 「自立プラン」以後、目標にして「自立プラン」を作ったのだが、現状を見

行政サービスもなかなか良いが、一次産業は就農人口

が減っているのは村の課題であると思ひ。

鶴居村は住民サービスが充実していることが、鶴居村の一番大事なことだと思います。これから高齢者が増え、若い世代の子育て支援は継続していくほ

ども必要と思う。加工を含めた商工観光ならこれというようなもの、酪農館も頑張っているがもっと大きなものを期待する。

そういう所で鶴居村は自立していれるんだといつアピールが出来れば良い。大きさに言つと日本の中でも希有なものであつて、いたいという願望がある。



# 攻めの「自立フ。

計画期間を平成17年度から21年度の5年間とした、前回の自立プランは事務

削減ばかりが全てでない。  
議会として成立するにはそれなりの議論がなければなりません。  
議会の中でそれぞれ役割があるので、それらをしっかりやつてもうのが第一主義であるし、質の向上が大事である。

自分は「議会だより」が大好きで、議員の発言内容を逐一チェックをしています。昔に比べて、議会活動は活発になっていますし、一般質問も多くなっています。ただ、傍聴が少ないようですが、議会に対しても・行政側に対しても傍聴は大切だと思います。



菊地和広さん



音成 議員がそれぞれ何に力点を置いているのか、あまり良くわからない所がある。議会だよりだけでは、伝わらない部分もあるので、

菊地 削減ばかりが全てでない。議会として成立するにはそれなりの議論がなければなりません。  
議会の中でそれぞれ役割があるので、それらをしっかりやつてもうのが第一主義であるし、質の向上が大事である。

司会 次に、村長は住民の意見を聞く場を設けたいと  
の考え方を示されました。

音成 意見交換というのも、もちろん大切だと思います

小野寺 国会でいう諮問委員会の様なもので、その中で良いものを採用すればいい。

菊地 個々それぞれの考えがあるので収拾つかない可能性がある。

音成 議員だよりはどっても見やすいと思います。イラストの似顔絵も親しみやすい。

音成 意見交換といつのも、もちろん大切だと思います

小野寺 国会でいう諮問委員会の様なもので、その中で良いものを採用すればいい。今言われている協働の村づくりの中で、住民が継続的に審議する機関は重要なと思う。

菅原 今後も、行政・議会に対しまして積極的に「提言を

小野寺 リアル感が出てきた感じがします。

音成 議員だよりはどっても見やすいと思います。イラストの似顔絵も親しみやすい。



音成 意見交換といつのも、もちろん大切だと思います

小野寺 国会でいう諮問委員会の様なもので、その中で良いものを採用すればいい。今言われている協働の村づくりの中で、住民が継続的に審議する機関は重要なと思う。

菅原 今後も、行政・議会に対しまして積極的に「提言を

小野寺 リアル感が出てきた感じがします。

音成 議員だよりはどっても見やすいと思います。イラストの似顔絵も親しみやすい。



# つるい議会だより

平成24年10月30日発行

135号

発行編集

北海道鶴居村議会  
広報調査特別委員会

0854-642116

鶴居村 鶴居西1・1

## 村議会の動き

- 8月29日 釧路北部消防定例会
- 9月 6日 議会運営委員会
- 9日 鶴居消防団秋季消防演習
- 13日 9月定例会
- 14日 9月定例会・広報委員会
- 15日 釧路支部消防技能大会
- 21日 広報委員会
- 23日 ふるさとまつり
- 10月 1日 広報委員会
- 5日 林活議連（白糠町）
- 10日 広報委員会
- 16日 広報委員会
- 22日 広報委員会
- 29日～11月 2日  
道外行政視察

## 読者の声

### 垣根を越えた「攻めの施策」を

水本 梨佳



酪農後継者として生まれ育った鶴居村に帰ってきて2年5ヶ月が過ぎようとしています。

今年に入ってから色々な組織等に参加する機会も増えましたが、その中にふるさと祭りの実行委員会があります。

本年度も去る9月23日に開催されましたが、天候にも恵まれ大勢の来場者で賑わい、来てくださった皆様には感謝の気持ちで一杯です。

当日までよりよい祭りにしようと議論を重ねていましたが、その中の1つに牛乳の無料試飲に鶴居産の牛乳を使用出来ないか？という声がありました。

また、分娩後間もない牛の初乳で作る「牛乳豆腐」を提供してはどうか？という案も出了しました。

鶴居の祭りなのだから出来るだけ鶴居産のものを提供したいという気持ちからです。準備期間も考慮すると来場者の方々に安全に提供する上で衛生面等色々と問題があるのではないかという事で、残念ながら今回は実現には至りませんでした。

近年地元農家の生乳だけを使用した牛乳を販売する地域も増えてきました。

鶴居村でも過去には飲用乳の製造販売についての検討がなされていたようですが、需要拡大や設備整備、コスト等の面から実用化に踏み切るのはなかなか容易ではないというのが現状です。

それでも鶴居村の基幹産業は紛れもなく酪農であり、全国的にも非常に高い評価を頂いている鶴居チーズと共に鶴居産の牛乳を皆様にも飲んでもらい、或いはお料理にも使って頂いてそのおいしさを体感して頂きたいという生産者としての想いもあります。

諸般の問題により産業を取り巻く環境は非常に厳しいというのが現状ではありますが、このような時こそ故郷を守るために業種の垣根を越えた攻めの政策も検討して頂けたらと期待しております。

### 広報調査特別委員会

委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
員	員		
松 井	及 川	佐 藤	大 津
洋 和	満 浩	吉 人	泰 則



しっかり担ぐ鶴居の未来